学校番号	3017

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	１単位	年次	２年次後期
校内名称	地理Ｂ			ユニット数	２．５	必選別	選択必修
使用教科書	「新詳地理Ｂ」（帝国書院）「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新詳地理資料　COMPLETE　2020」（帝国書院）「新地理要点ノート」（啓隆社） 「ﾃﾞｰﾀﾌﾞｯｸ ｵﾌﾞ ｻﾞ ﾜｰﾙﾄﾞ 2020」（二宮書店）「地理の整理と演習」（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理を一言で言うと、「地表空間における特定地域の自然、人文の諸事情を総合的に把握し、地域的特色を明らかにしようとする学問」です。

もう少し簡単に言うと「広い地球上で、なぜ、そこにあるのか？なぜ、そこで起きているのか？」を考える学問です。「地理は暗記もの」と思っている人も多いと思いますが、実は、「ものごとが起きるしくみ」を学ぶ教科です。

もちろん、対象は地表なので、地図を使うことは必須です。地図で確認しながら自分の頭の中に自分だけのマップを作ってみましょう。

２　学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業態度 （積極的な授業参加、地図帳の活用度など） 映像・文献に関する感想文・レポートの提出	授業態度 （質問に対する答えなど） 定期考査 映像・文献に関する感想文・レポートの内容	授業態度 （地図帳・統計の活用など） 定期考査	授業態度 （授業での発言内容など） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点９０％程度、平常点１０％程度です。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">後期中間考査まで</td><td>様々な地図と地理的技能</td><td>■様々な地図と地理的技能
■地域調査</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>a：地球儀や諸地図の活用、地域調査などの活動を通して、単元に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。
b：地球儀や諸地図の活用、地域調査などの活動を通して、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
c：地球儀や諸地図の活用、地域調査などの活動を通して、諸資料の取捨選択を適切に行い、特徴を読み取ったり図表にまとめたりする地理的技能を身につけている。
d：地球儀や諸地図の活用、地域調査などの活動を通して、現代世界の地理的事象を捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</td><td>授業態度
感想文
レポート
定期考査</td></tr>
<tr><td rowspan="2">現代世界の系統地理的考察</td><td>■自然環境
○地形環境
○気候環境</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td>a：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについての考察をもとに、単元に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。
b：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
c：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについて、諸資料の取捨選択を適切に行い、特徴を読み取ったり図表にまとめたりしている。
d：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</td><td rowspan="2">授業態度
感想文
定期考査</td></tr>
<tr><td>■資源と産業
○農林水産業</td><td rowspan="2">a：資源と産業に関する諸事象の分布や動向などに関する考察をもとに単元に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。
b：資源と産業について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
c：資源と産業に関する諸資料の取捨選択を適切に行い、特徴を読み取ったり図表にまとめたりしている。
d：資源と産業について系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</td></tr>
<tr><td>後期期末考査まで</td><td>■資源と産業
○資源･エネルギー
○工業
○流通と消費</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○を付けている。